

# さぼうエリアにおける校外学習

令和3年 7月27日



学習目的である、土砂災害と「さぼう」の役割について、午前は岐阜大学木村名誉教授からさぼう遊学館内で講義をいただきました。午後は巨石積堰堤見学と羽根谷だんだん公園一帯を木村教授からの丁寧な説明をいただきながらフィールドワークする体験学習ができました。

200年以上前に造られた巨石積堰堤が持つ歴史的な背景や、堰堤のお陰で現在も海津一帯が災害のない安全な地域であることを知り、先人の方へのご恩を感じずにはいられませんでした。

さぼう遊学館を中心とした、羽根谷エリアにおける歴史、土砂災害から身を守るための学習、フィールドワークを通して、避難の必要性や被災時の対応と備えについて学習してきました。

コロナの影響で延期されていた企画でしたがやっと校外で学習できる喜びを感じながらの貴重な一日となりました。



参加生徒からは

「地すべり・がけ崩れ・土石流の違いや土石災害が発生しやすい地形や条件を初めて知ることができた。」

「ハザードマップで自宅の危険度を知る事と防災グッズや備蓄食料を備える重要性を強く感じました。」

「非常変災が多い時代なので、海津から防災への啓発を呼びかける仕組みを課題として、仲間と考えるきっかけをもらえました。」

といった感想を聞くことができました。